

学生生活実態調査（H29年度実施）における学生からの意見・要望の主なものについて回答します。その他の頂いた意見・要望については大学における業務改善に役立てます。  
 学生委員会委員長

学生からの意見・要望等	回答欄
<ul style="list-style-type: none"> <li>ネット授業が増えるとうれしいです。</li> </ul>	本学でも今後ますますのネット授業の拡大を検討いたしますが、現時点で、放送大学やサイバー大学が開講するネット授業の履修と単位互換が可能です。詳細は（ <a href="http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/tani.html">http://www.sc.admin.saga-u.ac.jp/tani.html</a> ）です。
<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽棟の練習室などを防音室にして頂きたいです。音漏れが酷く、練習に集中できません。良い練習環境が欲しいです。</li> </ul>	音楽棟については、教育学部3号館の改修に合わせて配置を見直し、改修後の3号館の中に移設します。防音設備も新調されます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技場の質が悪すぎます。</li> <li>佐賀大学グラウンドの400mトラックのコースの除草をお願いします。刈ってもすぐ伸びて走れなくなるので、除草していただきたいです。</li> </ul>	同様のご意見は多くいただくところです。グラウンドの砂は定期的に購入していますので、まず利用者である学生の皆さんが率先して手入れをし、グラウンドのコンディションを保ってください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の金銭的補助をしてほしい。</li> </ul>	学生生活課では、課外活動の支援費用として、年1回、各サークルに要望物品を照会し、部門会議に諮って、決定しています。予算に限りがありますが、必要な物品等があれば、要望書にて申請してください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>鍋島キャンパスのプールを直して欲しいです。</li> <li>鍋島のプールを早く修理してください。部活ができません。</li> </ul>	要望があることは承知していますが、修理を行うのは困難であり、本庄のプールを利用し部活を行うようにしてください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業料免除制度の対象者を増やしてほしい。</li> </ul>	授業料免除の対象者は毎年約1,800名で、それは予算や申請者数によって変動がありますので、要望に応じて増やせるものではありません。予算の縛りはありますが、学生生活課としては、受給すべき学生に公平・公正に対応出来るようにつとめています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>学費免除を親の収入で見てもほしくないです。</li> </ul>	本学の授業料免除選考基準は、家計基準と学業成績基準を基に行っており、同一生計者の収入の確認は必要となっております。基準については、状況等に応じて、検討を行っております。
<ul style="list-style-type: none"> <li>教務課、学生生活課の職員の表情や対応が冷たく、立ち寄りがたいので改善していただきたい。</li> </ul>	学生の皆さんが相談に来やすい対応に心がけています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>教務課と学生センターの閉まる時間を遅めてほしいです</li> </ul>	通常、学生の授業を考慮し18：00まで開けています。学生の皆さんには昼休みを利用するなど、ご理解とご協力をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学生活に必要な情報（学業関係も含む）はライブキャンパスで統一してほしい。</li> <li>掲示板が複数あり、かつ古い情報も多いから必要な情報を見分けるのに時間がかかる。</li> </ul>	H31年度からパソコン必携化に伴い、大学生活に必要な情報は電子化することを進めています。学内の掲示板も必要最低限に減らしていく方針です。必要な情報の取捨選択は学生自身でお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> <li>学内に自転車通行帯を設置してほしい</li> </ul>	佐賀大学マスタープランに則り、自転車通行帯の整備に着手する予定にしています。平成32年度の完成を目指しています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の数の割に駐輪場が少なすぎると思います。</li> <li>駐輪場が狭すぎて、停めてはいけないところに停めている人がたくさんいます。停めてはいけないのであれば、もっと広くしていただけるとありがたいです。</li> </ul>	以前、調査を実施し、駐輪場にきちんと止めれば、スペースは満たしているという結果でした。利用する建物の近くに止めたい心理はわかりますが、駐輪場への駐輪にご協力をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> <li>駐輪場に屋根をつけてほしい。</li> </ul>	要望としてあることはわかりましたが、予算の関係で厳しいことをご理解ください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>• トレーニングルームの設備をもっと充実させてほしいです壊れているものもありトレーニング中の怪我等危険だと思います。</li> </ul>	<p>危険であれば使用中止を検討します。また、要望があることは承知していますので、今後も必要な要求を行います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 弓道場の守衛による戸締りが早すぎる</li> </ul>	<p>体育施設の利用時間は全ての部活等で22時までです。時間厳守をお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 野球場の駐車場が使えなくなったので路上駐車が増えてかなり迷惑しています。関係していないのに警察がきて練習が中断になったこともあります。オレンジのボールにより道幅も狭まり人や車が混み合う光景も目にします。ぜひ以前のように開放してください。</li> </ul>	<p>今後も野球場の駐車場を開放する予定はありません。以前から野球場利用に限らず、違法な駐車が後を絶たず、ほとんどが学生によるものでした。今後も違法駐車への注意を行い、状況によっては警察への通報を行います。学生さんは道路交通法や学内規程に則り、適切な駐車をお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 悪質な宗教勧誘を見かけなくなったのが学内生活の水準を引き上げ、なおかつ新入生への安心感へと繋がったように思われる。自分も何度も絡まれ鬱陶しくてしょうがなかったので嬉しかった。今後もより良い学生生活を享受する為に悪質な宗教勧誘を撲滅するような環境作りをして頂けるとありがたいと思う。</li> <li>• 大学内、外において宗教団体が二、三人のグループを作り、半ば強引に取り囲むようにして勧誘してくるので、これに対し何らかの対応してほしい。自分も去年数回声をかけられたりした。場所としては、大学前のセブンイレブン駐車場や学生会館付近の裏門だった。大学内の学生会館付近の駐輪場</li> </ul>	<p>学内で執拗な勧誘などに合った場合は、学生生活課へご連絡ください。日頃から、安易な誘いに乗らないこと、怪しいと思ったらきっぱり断るなど、学生さん、それぞれもご留意ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• パン・おにぎりの袋のプラスチックのゴミの分別がいまいちわからない。</li> </ul>	<p>パン・おにぎりのプラスチック製の袋は「プラスチック類」に分別して捨ててください。このルールは平成28年に改訂されています。今後、皆さんにわかりやすいよう、掲示を工夫します。ゴミの分別について、「廃棄物分類表」が佐賀大学エコアクションの取組サイトから学内専用でダウンロードできます。  <a href="http://www.saga-u.ac.jp/ea21saga-u/gakunai/gomi-manyu-hon28.xls">http://www.saga-u.ac.jp/ea21saga-u/gakunai/gomi-manyu-hon28.xls</a></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• インターネットで動画を閲覧していたら、知らぬ間に、動画を共有する内容が SNS に投稿されていた。</li> <li>• 「サービスからのお知らせ」を開いたところ、非公開の設定がすべて公開に勝手に変更された。</li> </ul>	<p>これらは、クリック ジャッキングと呼ばれ、ユーザーが気付かないように透明な隠しアイコンを仕込んだ無害に見えるサイトへ誘導し、知らぬ間に、投稿や共有動作を行わせます。SNS のサービスからこまめにログオフする。ログオフしておくことで、背後で行われる勝手な投稿を防ぐことができます。サービス管理者を装ったメールやメッセージに注意する。リンクは安易にクリックせず、正規の送信元であるか、正規のサイトで入力を行っているかを必ず確認しましょう。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• A君がB君の画像を、SNSにアップしたのをB君が知って数日後にA君に削除するように伝え削除されたが、数年後そのSNSにアップされた画像が詐欺の道具として使用された。</li> </ul>	<p>SNSに画像を投稿することで、たくさんの人と喜びを共有できます。しかし、その一方で不適切な画像を載せてしまった場合に、多くの人に見られてしまう可能性もあります。そして、その画像がシェアや共有をされて一瞬のうちに世界にばら撒かれてしまう可能性もあります。もちろん、いい意味での拡散はとてうれしいことですが、現在のネット上では、いい情報よりも悪い情報の方が拡散する速度は速く、世界中に広まるまでの時間が本当に一瞬です。間違いに気づいてすぐに投稿を削除したとしても、その画像は他の人によってすでに保存されているかもしれません。</p> <p><b>一度ネットに公開した情報は、基本的に永遠に消せないものだというを理解しておきましょう。</b></p>